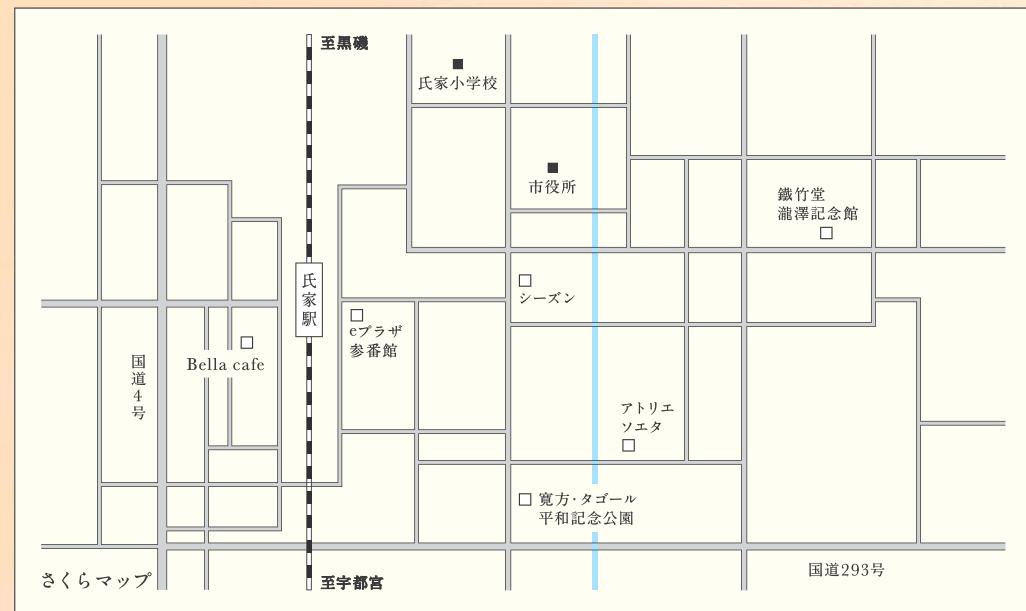




矢板 × さくら Machifurari —— No.7. まちなか元気News



発行 / 栃木県まちなか元気会議（栃木県まちなか元気会議事務局 | 栃木県県土整備部都市計画課）

Tel. 028-623-2464 / Fax. 028-623-2595

「栃木県まちなか元気会議」は栃木県と県内16市町によって構成される協議会で、
中心市街地の活性化推進を目的に普及啓発事業を行っています。



遠くに見える高原山がきれいに色づいて、のどかな風景をにぎやかに演出している。高校時代を過ごしたこのまちは、紅葉するこの時期が一番きれい。昔と変わらないまち並みが私に「おかえり」と言つているような気がして、自然と足取りも軽くなった。学校帰りによく行つたお店に寄ると、味も値段も変わらない、学生たちでにぎやかな店内。おかあさん特製のオムソバのあつたかい味が懐かしくて。記憶を頼りにまち歩いて、矢板武記念館に立ち寄つた。受付のお姉さんが「若い子が蔵で映画の上映会をやるの」。と一枚のチラシを渡してくれた。名前だけ知つていて古い映画のタイトルが並んでいて。「次は参加しようかな」。蔵の中で鑑賞るのはどんな感じなんだろう。記念館を出て、りんごをお土産に持つて帰ろうと、果樹園に向かった。せっかくだから、りんご狩りをしよう。そう思つて、真っ赤に色づいたりんごのいい香りがする果樹園の中に入ると、おいしそうなりんごが木にたくさん実つていて。これはお父さんに、これはお母さんと、家族の人数ぶんりんごをかごの中に入れる。帰り道の途中、採つたばかりのりんごを手に、もう一度まちを眺めた。あの頃と同じように今日もこのまちは、私をやさしく迎えてくれた。「ありがとう。またね。」いつでもおかえりと言つてくれるこのまちを、ずっと忘れない。

矢板の手仕事

矢板の刀工

武器として、信仰や権威の象徴、また武士の精神として。千年の時を経て、日本文化と共にその歴史を刻んできた日本刀。「日本刀の美しいは機能美である」。切ることを追求し生まれた美しさは、日本の職人技術が生んだ賜物です。十八歳で人間国宝に弟子入りし、炭切りの下積み仕事をする傍らその技術を学んだ加藤さん。原材料である玉鋼の、良い部分だけを取り分ける「水へし」。炭素量のムラをなくすため、鉄を何度も打ちのぼし、折り返し鍛える「鍛錬」。ゴーゴーとふいごから風の流れる音と、トンカントンと力強く火花を散らせて、真っ赤な鉄を叩く音の響く鍛冶場で、より強靭な刀を作るために重要な作業を、丁寧に数十日の時間をかけて行います。そして研ぎ・鞘・金工・漆塗り・組み紐・柄巻きなど様々な職人の技が合わさり、ようやくできるがる一振りの日本刀。関わる職人の叡智がその美しいをより際立たせます。「武器としてではなく、刀の本当の美しさをもつと多くの人に実感してほしい」。そう話してくれた加藤さんの技と想いは、日本刀に刻んだ名前とともに、これからも日本文化として世界中の人々を魅了しつづけます。

刀工 加藤慎平 [Shinpei Kato]

栃木県矢板市木幡1337-25 / Tel. 0287-43-3037





昔より奥州街道の宿場町として、たくさんの人や文化の交流が盛んだったまち。今でも街道沿いに、長屋門が当時と変わらない堂々とした姿で軒を連ねていて。私の背の倍くらいある大きな門をくぐつて、かつて明治天皇が訪れたという、鐵竹堂に足を運んだ。障子の向こうの、赤や黄色に色づいた庭がとても美しくて、時間を忘れてずっと眺めていた。鐵竹堂を後に、細い路地をまちの方へ歩いていくと、石碑がある小さな公園を見つけた。「ちょっと休憩しようかな」そう思って立ち寄った公園には、このまちで生まれた画家に、インドの詩人が宛てた詩が刻まれていて。彼らの深い友情を私の心に刻むように、ひとつひとつ彫られた文字を指でたどる。友達に手紙を最後に書いたのはいつだろう。いつも恥ずかしくて、素直に言えない気持ちを手紙に書いてみようかな。何を書こうか考えながら駅の方へ向かい、カフェでサンドイッチを食べてから、大好きな友達に宛てる感謝の気持ちを、真っ白な便せんに綴つた。何度も迷いながら、やっと書き終えた手紙。さつき公園で拾ったキレイな落ち葉と一緒に封筒に入れ、窓方とターゴールのようにいつまでも友情が続きますようにと、想いを込めて封をした。時代の面影を残すこのまちは、ずっと大切にしなくちゃいけない人や想いを、私にやさしく教えてくれた。

一生に一度、心と心を結ぶ結婚の証。結婚指輪は誰もが憧れる、夫婦の幸せをかたちにしたものですね。そんな結婚指輪を、お客様と一緒にオーダーメイドで制作する工房がアトリエソエタさん。自分で指輪に手を加えられることが支持され、これまで約五千組もの結婚指輪を制作してきました。「永く使うものだからこそ、お客様の想いをかたちにできるよう丁寧なサポートを心がけています」とオーナーの添田さん。他の宝飾品とは違い、強度や着けやすさなどの実用性や機能性にこだわってデザインを提案し、お客様と一緒に作業をするのは、ずっと大切に身につけて欲しいという想いから。難しいオーダーでも、なんとかかたちにできるよう、どんな手間も惜しまず真剣に向き合います。貴金属を扱うこの仕事は、材料費も高価でその扱いも慎重。作業工程も数えきれないほどの、細かく手間のかかる作業の繰り返しです。それでも、指輪の仕上りを確認・調整し、何度も研磨する姿に「やきあがった指輪の箱をあけたときの、お客様の幸せいっぱいの笑顔のため」という職人さんの、つかう人を大切に想う気持ちがあらわれていましました。

Atelier Soeta [アトリエソエタ]

栃木県やくら市櫛駒1302-16 / Tel. 028-682-7899





イベントで、まちを「元気に。」

次の目標へ

前橋 私は市が主催する会議などに参加するうちに、まちが元気になるために、自分にできることがあるんじやないかって思い始めて。鈴木 僕も市が主催の、宇都宮大学の教授が行う塾に九期生として参加して「蔵*武Project」を始める事になりました。学生の頃からまちづくりに興味はあって、色々調べてはいたんですけど、前橋 若い方が精力的に活動されていて、関心します。

私も「氏家まちぐるりActive」という団体に参加して、雑めぐりなどのイベントをまちなかで行つていて。次で十三回目を迎えるんです。鈴木 僕たちは矢板武記念館内にある蔵を借りて、二ヶ月に一回普段はあまり観ないような、古い映画の上映会を行っています。初めは参加者が集まらないこともありました。徐々にまちで広がって今では二十人ほど集まるようになつて、好評をいただいています。前橋 雜めぐりも、初めは雑どころが三十一軒だけでしたが、九十軒以上が参加するイベントになりましたよ。徐々にまちの人が興味を持つてくれて。鈴木 まちに人が増えると、活気が生まれるので、それがまち全体に波及できるといいでですよね。

鈴木 今まちに人が集まれる場所が減つてしまつてるので、活動拠点である矢板武記念館が、世代を超えて人が集う、ちょっととした社交場のような役割を担えるようにしたいと思つているんです。前橋 そうですよね。商店街もイベント中は人がたくさん集まるんですが、終わるとまた元の閑散としたまちに戻つてしまふので、人がまちに集う場所は必要ですよね。鈴木 なので、矢板武記念館という場所をまず知つてもらつて、そこからどんどんまちが盛り上がりてくれることが目標です。前橋 私は、商店に活気がないと人が継続してこないのではと思つていて。その為に、お店を出したいたと思つて、その店舗をつなげる仲介役ができるようになつたらいいなと考えています。鈴木 そういう方がいると、若者も行動しやすいですね。矢板は近所の人も市の職員さんも、僕たちにとても親切に接してくれる、心のあたたかい人が多くて大変ありがたいんです。前橋 みんなで同じ目的意識を持つて、昔の古き良き部分は残しつつ、新しいもの取り入れながら進化していくことがこれからまちにとつて大切ですよね。

右 前橋 厚「Kilala マーベシ」

左 鈴木 友之「蔵*武Project」

栃木県矢板市本町15-3(矢板武記念館内)

tel. 0287-43-0032

url. kilalamb.com

今回のモデル

篠原昌枝さん



いつも車で通り過ぎる道を
ゆっくり歩いてみたら、新し
い発見がたくさんありました。
歴史ある建物や美しいお庭。
小さなおいしいごはん屋さん。
乾いた落ち葉の音やキラキラ
する川面の素敵さ。優しい刺
激をもらいました。

撮影協力

矢板市

おしらじの滝／加藤農園
志ん朝／高原山
矢板武記念館／夢まち屋

さくら市

eプラザ参考書館
勝山パークブリッジ
寛方・タコール平和記念公園
シーベン／鐵竹堂瀧澤記念館
Bella cafe



Machi Terai

栃木県内中心市街地のイベント情報 [2016年01月-2016年04月]



小山市 / 初市・だるま市

無病息災と商売繁盛を願って開催される初市。
出店ブースには、福引きやチャリティー豚汁などが並びます。

期間 / 1月11日[月] 時間 / 10:00-15:00

場所 / 小山駅西口祇園城通り歩道他

問合せ / 実行委員会 Tel.0285-22-9273



真岡市 / 第7章 真岡・浪漫ひな飾り

段飾りやつり雛など、久保講堂が華やかな雛人形で
いっぱいの1ヶ月です。日本古来の美しさをご堪能ください。

期間 / 2月3日[水]-3月3日[木] 時間 / 10:00-16:00

場所 / 久保講堂 (2月は毎週火曜日休館)

問合せ / 真岡市観光協会 Tel.0285-82-2012



佐野市 / ばるぼーとスプリングフェスタ2016

大道芸人やライヴなど、子どもから大人まで
楽しめるイベントです。お気軽にお越し下さい。

期間 / 3月中旬 時間 / 10:00-15:00 予定

場所 / 佐野駅前交流プラザ周辺 問合せ / 佐野駅前交流ブ

ラザ ばるぼーと Tel.0283-27-0005



下野市 / 天平の花まつり

日本三大桜や470本の八重桜が咲く公園で、模擬店やヒーローショー等が開催されます。春の風物詩をお楽しみください。

期間 / 3月20日[日]-5月5日[木]

場所 / 天平の丘公園

問合せ / (一社)下野市観光協会 Tel.0285-39-6900



鹿沼市 / 今宮神社 節分祭

境内は福を求めた人であふれ、年男・年女を迎え、
神楽殿から厄落としを祈願し、豆まきを行います。

期間 / 2月3日[水] 時間 / 14:00-14:30-

場所 / 今宮神社

問合せ / まちの駅 新・鹿沼宿 Tel.0289-60-2507



さくら市 / 氏家雛めぐり

氏家商店街を中心に70店舗以上が参加し、享保雛やつるし雛、
高さ1.8mの「とちおとめ雛」などの雛人形を展示します。

期間 / 2月6日[土]-3月6日[日] 時間 / 9:00-17:00

場所 / 氏家駅前周辺

問合せ / eプラザ壱番館 Tel.028-681-5757



宇都宮市 / かまがわ川床桜まつり

釜川に設置される川床の上で、水の音に癒されながら満開の
シダレザクラをお楽しみいただき、釜川の春をご堪能ください。

期間 / 4月上旬 時間 / 11:00-20:00 予定

場所 / 釜川 牧水亭-出雲橋 問合せ / 宇都宮まちづくり

推進機構 Tel.028-632-8215



栃木市 / 太平山桜まつり

約4,000本の桜が咲く太平山。2kmに渡り続く桜の
トンネルや、太山寺の樹齢360年のしだれ桜は必見です。

期間 / 4月上旬 場所 / 太平山県立自然公園

問合せ / 栃木市商工観光課 Tel.0282-21-2374

(一社) 栃木市観光協会 Tel.0282-25-2356



日光市 / 今市花市

新春恒例のダルマや熊手といった縁起物に、
食べ物や植木などの露店がぎりりと並ぶお祭りです。

期間 / 2月11日[木・祝] 時間 / 10:00-18:30

場所 / JR今市駅前通り周辺 問合せ / 今市花市実行委員会
Tel.0288-30-1171



足利市 / じけんち市

江戸時代、「寺家(じけ)」と呼ばれた鎌阿寺の寺領で
開かれる市。骨董品や採れたての野菜などが並びます。

期間 / 3月13日[日]-12月11日[日] 毎月第2日曜日

時間 / 9:00-15:00 場所 / 鎌阿寺北門 奥の院通り
問合せ / じけんち市実行委員会 Tel.0284-41-7844



芳賀町 / 第24回 芳賀町さくら祭り

約3kmの桜のトンネルが、みなさまをお迎えします。

期間中は、屋台が楽しめるイベントも同時に開催されます。

期間 / 4月上旬-中旬

場所 / かしの森公園及び周辺

問合せ / 芳賀町観光協会 Tel.028-677-1115

まちなか元気Newsについて

『まちなか元気News まちふらり』は、多くの人に
栃木県内の中心市街地に訪れていただけるよう、
「まちなか」の魅力を紹介する冊子です。次号は、
宇都宮市・高根沢町を訪れます。どうぞお楽しみに。